

まちづくりの活動記録を残し、地域を未来につなげよう！

NPO法人天満浦百人会

地域のまちづくりをリードしてきた団体のドキュメンタリー作品を創る！

農林水産大臣賞・農政局長賞など、まちづくりの賞を総なめにし、全国から注目をされているお母ちゃんたちがいる。自分たちが住む天満浦地区を元気にしたい。高齢化率46%の小さな町が立ち上がり、数々の仕掛けを行う。尾鷲市のまちづくりを語るうえで絶対に欠かせない団体の将来をともに考え、地域で生きることを学ぶ。



大正14年に建築された「天満荘」



お母ちゃんたちのランチバイキング

受入責任者／松井まつ美 副理事長のメッセージ



田舎のばあちゃんの所へぜひ来てくれい！百人会を応援してくれい！
目の前に紺碧の海が広がり、深い山々を背に抱える自然豊かな町で、天満浦百人会が核となり切磋琢磨の活動をすれば、必ずや明るい笑顔のある“まち”になると思います。
少子化や高齢化、マイナス思考でなく、60歳が青年団、70歳が壮年団、80歳が熟年、90歳が高齢者、このような気持ちで百人会が他のサークルや団体と手をつなぎ、明るく元気な“まち”にしていきたいです。

受入責任者プロフィール

1940年海山（尾鷲のとなり）生まれ。まちで6番目の女性ドライバーとして、家業の牛乳屋さんで当時から活発にお手伝い。1966年より尾鷲市天満浦在住。3人の子育てなど専業主婦を経て、1987～1998年生命保険会社にて勤務。2000年より天満浦百人会に参加。長く海外留学生などのホームステイ受入れ経験あり。2013年春休みインターン生のホームステイ受入れ経験もあり、おかげで地元の人よりインターン生の方が尾鷲に詳しくなったほど。

ココがスゴイ！

「とにかく、パワフル！」

日本全国の地域で少子高齢化が進む中、この問題は尾鷲の天満浦地区も例外ではありません。“天満浦をにぎやかな町にしようい”を合言葉に天満浦百人会は活動を開始。大正14年に建築された古民家「天満荘」を買取り、イベントの開催やカフェを運営。お母ちゃんたち自身もぎ取った天満浦の甘夏は、カフェでジュースとして、また研究に研究を重ねたケーキとしても楽しめます。お母ちゃんのランチバイキングでは、尾鷲の食材で作った尾鷲の家庭料理が好評です。農林水産大臣賞・農政局長賞などまちづくりの賞を総なめにし、取材申し込みが殺到し、全国からも大注目。メンバーの高齢化が進む中、次から次へどんどん企画を仕掛けていきます。



企業概要 <http://tenmaura.info/>

事業内容：飲食・交流施設運営、特産品生産販売 | 従業員数：15名 | 売上高：15,000千円

企業の目指す方向性 (募集要項)	<p>天満浦百人会は今から30年前、小学校PTA天満浦地区子供会の父母が子どもを通した活動から芽生えた組織です。昭和59（1984）年9月のことです。地区には自治会や老人会、生活改善グループに福祉グループ、総代会等があり、相互に協力しながら活動を続けていましたが、子どもたちの成長とともに尾鷲市においても過疎・高齢化が進みました。天満浦地区においても同様で、しだいに賑わいが失われつつありました。</p> <p>メンバーとの話し合いの結果、【天満浦をにぎやかな町にしようい】を目標に活動を開始。</p> <p>平成11（1999）年東紀州体験フェスタという県のイベントでは、隣町の海山町から天満浦を通る海沿いの明治の道、“猪鼻岬（いのはなみさき）まわり水平道（すいへいどう）”が注目。この道を通って尾鷲を訪れる人々を「もてなし」集客交流をはかろうと、15名のメンバーで「任意団体天満浦百人会」を結成。このもてなし拠点として天満浦集会所が大きな役割を果たしましたが、厨房が非常にせまく、日頃から「集会所の厨房を大きくするにはどのようにすればよいか」はお母さんたちの一大関心事でもありました。そこで特産品を開発し販売した利益で厨房を広げようと特産品を作りました。この地方で昔からあった「竹ようかん」前浜の「天草（海藻）」復活、特産の甘夏みかんジュース・ピール・マーマレードや陶器の地蔵を作り、市内のイベントや世界遺産となった熊野古道馬越峠の屋台店、毎月開催の尾鷲イタダキ市などで販売し、資金をコツコツと貯めました。</p> <p>古民家（天満荘）を買取り、名月を楽しむ「月と語る夕べ」、正月の「初日の出を見る会」、三月のお雛さん祭り、夏は盆踊り等、四季を通じた活動を開催しており、今では年間1,000名以上の集客イベントを行っています。また、熊野古道の世界遺産登録を機会に、お母さんのランチバイキングを行う話がありました。一度はお断りしたものの、関係各位からの熱心なお誘いと尾鷲の味と手料理を提供する方針に出店を決意、このことを機に任意団体からより責任の持てる「NPO法人天満浦百人会」を設立、新しいスタートを切りました。コツコツ貯めたお金で災害時にも対応できるようにとの願いをこめて10坪の厨房「笑福工房」を新築。夢古道ランチバイキングは平成19（2007）年4月オープン。地産地消を第一に毎日20種類以上、尾鷲の旬の味を提供し、「今しかない！こししかない！これしかない！」をモットーに尾鷲の母ちゃん頑張っています。</p>
期待する成果	<p>天満浦百人会の活動ドキュメント・地域のマップの作成</p>
プロジェクトステップ (仕事内容)	<p>活動の支援と地区のキーマンのヒアリング、マップの作成</p> <p>▼STEP1（1～2週間目）</p> <ul style="list-style-type: none"> —地区をくまなく回り、まちを知る —活動の内容を知り、ランチバイキングの仕組みを学ぶ —古民家カフェでの営業やイベント企画の発案 <p>▼STEP2（3週間目～2か月）</p> <ul style="list-style-type: none"> —現場を体験しながら、ドキュメンタリー（映像記録）や地域のマップ作成
得られる経験	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の現状を知る ● まちづくりと防災に取組みを学ぶ ● 地域で活躍する人々の生き方を知る
対象となる人	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域に興味がある人 ● 少子高齢化への対策に興味がある人 ● 元気に明るくあいさつのできる人 ● 企画に興味がある人
事前課題	あり
期間	【夏休み】2ヶ月 * 応相談
基本勤務時間	【夏休み】週6日 8:00～16:00 平日休み * 勤務時間は変更の場合あり、住込み/宿泊所あり
勤務地	三重県尾鷲市天満浦161
活動支援金	あり



天満荘でのひな祭りイベント